



ひまわりファイル

= 消防バイク2台を名東署に配備 =

自動車が行けない所で活用、名古屋市で初の導入



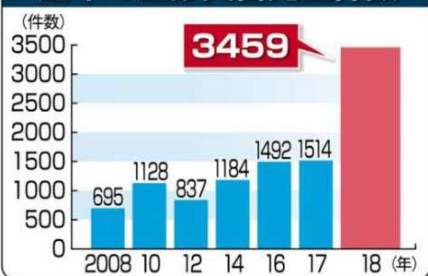
大規模地震が起きると、道路の亀裂、建物の倒壊、渋滞などにより、緊急自動車の通行が困難になります。こうした時に役に立つのがバイク。

名古屋市はこのほど、消防用バイク2台（救助活動用と消火用）を名東消防署に配備しました。

SNSで消防バイクの愛称を公募し「赤鯨（あかしゃち）」に決めました。バイクは野山など舗装されていない所を走れるオフロードタイプ。市は今後、高速道路の事故、林野火災などさまざまな場面で活用していきます。

先日、市民の方、近藤市議と共に消防バイクを視察。市民の方からは「震災の折にバイクが活躍したことは知っていた。導入されてとてもうれしい」、「高速道路での事故の時、渋滞でもいち早く現地に行けるのはすばらしい」と喜びの声がありました。

近年の土砂災害発生件数



※国土交通省の資料を基に作成

土砂災害から身を守る工夫を

国土の7割を山地と丘陵地が占め、急な流れの河川が多く、降水量が世界平均の2倍という日本は土砂災害の発生頻度が高い。昨年は地震や台風が相次いだこともあり、土砂災害の発生件数が大幅に増加。1982年の集計開始以来、過去最多となる3,459件のあった。